

これがチェイサー改め「ベロツサ」の予想フォルムだ。上方へ回り込んだリアコンビランプが新新。なお、プラットフォームや搭載エンジンはマークと共有される見込みだ。

Illust. K, Yamanouchi

2001  
6月



034

チェイサーのネーミング捨てて  
本格スポーツセダンに昇華！

# ベロツサ

しよせんはマークを手直  
しただけの兄弟車だっ  
たチェイサーが、本格的  
な独立モデルとして躍進する。社内  
では「181N」と呼ばれていたチ  
ェイサーだが、スクープ班では車名  
が「ベロツサ」になるとの情報も  
キャッチ。すでに商標登録も済ま  
れており、ネーミング変更はまちが  
いない。

メカまわりは新型マークと共有  
され、2.5 D-4 エンジンや5  
速ATも流用されるはずだ。うすく  
右足を押さえて、アルテッツァとア  
リストの間に位置するネット店の新  
スポーツセダンを待て！

035

## エスティマ ハイブリッド



99年の東京モーターショーで「HV-M4」として参考出品された現行エスティマ。そのコンセプトカーに搭載されていたハイブリッド・システムが、いよいよ市販モデルにも採用され

る。平常時はFF走行を行い、パワーが必要と判断された際にリアタイヤがモーターによって駆動され、一時的に4WDになるという優れものだ。価格はノーマル車より約60万円アップか。

036

## プレサージュ/バサラ

MC



お買い得グレードを追加して  
拡販作戦に乗り出したプレサ  
ージュ/バサラが、01年に初の  
MCを実施する。内外装細部の  
デザインが刷新され、目新しさ  
が引き出されるだろう。

ハード面で見逃せないのがQR  
25DE型2.5 直4エンジンの搭  
載だ。これにより、KA24DE型  
は姿を消し、直4モデルの性能  
が大幅に向上する。2月に生産試  
作が組み付けられる予定。

037



## パジェロイオ改良

リコール騒動で開発に遅れが生じている可能性もあるが、定例のタイミングから計算すれば、パジェロイオの年式改良が実施されるはず。未確認ながら、モデル末期に向けて2.4 直4搭載車が開発されているとのウワサもあり、もしホントに登場したら、ライバル車を上回る性能の持ち主として注目を集めるだろう。

038



## シャリオグランディス改良

次期グランディスの開発はスペースギアをベースに進められていたが、存在意義が薄く、NGが出されたとのウワサ。継続販売が続く現行モデルには定例の年式改良が施され、ボディカラー刷新と装備設定の見直しが行われるだろう。また、2.4 車に加え、3 V6 エンジンにも可変バルブタイミングが新採用されるかも。

039



## MPV MC

2 モデルのラインナップ拡充が図られ、引き続き人気を博しているMPV。01年には本格的なMCが施され、フロントマスクやリアコンビランプ、シート表皮が新デザインに変わる見込みだ。同時にマツダテレマティックス対応ナビやモジュール化された新世代オーディオが新たに採用されるだろう。

040



## ボンゴフレンド MC

FMCを待ち望んでいるユーザーも多いだろうが、いまのところ次期モデルが開発されている気配はない。一方、登場時期は流動的だが、01年上半期にはMCが実施される模様。おそらく内外装のデザインやグレード展開、装備アイテムの手直しが行われるはずだ。特別仕様車も同時リリースか。

041



## エプリイプラス改良

MCもしくは小改良が行われる可能性もあるが、大幅な変更にはならないだろう。引き続き特別仕様車を中心としたシンプルなグレード展開を維持し、便利な電動サイドステップが新採用されるかも。また、1.3 ターボユニットが搭載されるとのウワサもあるが、確定した情報はキャッチできていない。

●はみ出し情報● チェイサー後継とクレスタ後継の両説があった「ベロツサ」。クレスタ後継の新ネーミング「プレビス」が確認されたため、「ベロツサ」はチェイサー後継に間違いなさそうだ。